

主張

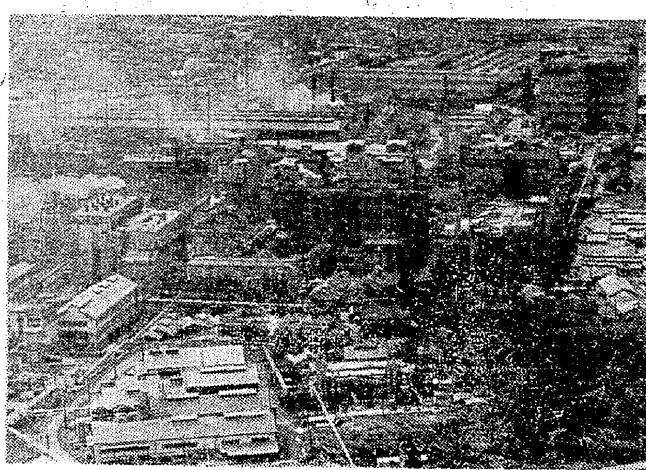
# 労働者も人間なんだ

三井東庄化学労働者、合理化反対闘争へ

## 大がかりな合理化？

三井東庄  
「まだハツキリいえぬ」

三井東庄化学（従業員一万一千人）末吉俊雄社長は、大量の人員整理を含む大がかりな企業合理化を準備中であることが、新聞で明らかにされた。このことは、この月末を期して実施される失効労働者の大量整理、すなはて深刻化する電化の大量解雇、あるいは三池製作所の合理化などと共に、①大牟田をもう一度失業者の街と化す、②低賃金状態をさらに強める、③田治体を根底から危機に追いつむ——などの悪影響が考えられ、当の労働者はどうにかよほず、大牟田の労働者、全市民にとって断じて許すことのできない問題だ。



五たび嵐が吹く化学工場地帯

倒産するかも  
知れない……

三井東庄化等といえど、一年前に秋に三井化學と東洋高圧が合併してできた企業で、事業所を北海道・千葉・大船・名古屋・大阪・堺・尼崎・大竹・彦島・大牟田などにもつ総合化企業として、国内で屈指の化學独占体である。

いま取り沙汰されている合理化計画について組合側からその真意を追及された同企業の末吉社長は新聞報道にはおどろいた。いま検討中だから今後のすすむ組合ができることがあることだから、いまはハッキリしない」（共闘ニュースから）

——「八千人から、八千五百人にせねばならないと考へていて。現在倒産するかどうかが問題になら」と素直とだけ見て見せながらも、しかしその同じ口で述べている——

倒産うんぬんはあきれてもの

もハッキリしないが、新聞は「千五百人の人員整理を計画中」「整理は大牟田事業所に集中する」と伝えていた。

ますます団結固める化東庄労組の仲間たち！

大牟田工業所

ところが会社側がいま労働者にかかるとしている計画は、人員整理と

かくして

いる。

だらう。やがて「独立採算制の採用」という口実での切り落とし、と

當の足をひっぱる邪魔者とうの

だらう。

とくに、不況による生産性の向上と、徹底的な労働強化が労働者にかかる

一時帰休、といったものが論行さ

れ、景気回復に従って労働密度を

高めたり、高能率主義というもの

を押しつけてきます。

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×

×